

# 親子と野あそび・特別コース

●虫とり（柳瀬川編）平成27年9月27日（日）

柳瀬川 富士見橋付近

講師：埼玉県生態系保護協会 富士見支部

天気予報が少々はずれ、怪しい天候の中、総勢46名（スタッフ含）の参加者がありました。子どもたち、又、お父さん、お母さんも長靴をはき、網を持っての万全の姿で参加されました。

生態系保護協会の千種先生から朝の挨拶の後、補虫網を使っての虫の採り方、虫がいるあぜや草むらを教えてもらいながら、親子で虫探しをしました。



是非、“トノサマバッタ”探してくださいとのことで、皆であちらこちらと探しましたが、なかなか見つかりません。

小さな幼児も取ってもらった虫を掴むことができます。

虫ケースの中を真剣なまなざしで覗き込んでいます。どちらかと言えば、男の子より女の子の方が抵抗無く触っていました。みんな自分の手で虫を掴んだ感触など体験できたようです。



小さなバッタ類が多く見られ、沢山とれたのは“オンブバッタ”と“コオロギ”でした。

オンブバッタは雄が雌の背中に乗って離れなません。こども達も面白そうに観ていました。

カマキリは“あぜ道から余り遠くない高い草にいるよ”と先生が言いましたが、なかなか居ません。ずいぶん探して、やっと子どもと大人のカマキリを各1匹、捕まえることができました。



うまく捕まえたトンボは“あきあかね”、“お腹が少し赤い程度でまだ真っ赤な色になっていませんでした。

今回は前日の天候の為か、”トウキョウダルマガエル”は見つけることができませんでした。



最後に集まって、先生が皆で捕まえた虫の説明を始めました。先生が脱皮して間もない”トノサマバッタ“の説明をしていたとき、女の子の虫ケースの中に一匹の立派なトノサマバッタがいることに気づきました。「これです!!」先生は“仮面ライダー“”トノサマバッタ“の顔の写真を比べながら特長を説明してくれました。



虫取りを始める前はスタッフとして、もし、何も取れなかったらどうしようと心配になったが、千種先生が説明できる最少限の昆虫を確保できたので、ひと安心しました。

その他にも、キジやサギ鳥など、昆虫以外の生き物を見ることができました。小雨の降る中、途中で稲刈りを体験し、最後、スタッフの挨拶の後、手作りの「どんぐり細工のホルダー」を全員の子どもたちにあげ、喜ぶ嬉しそうな顔を見ながら現地解散となりました。



前回の魚とりに参加した子どもたちとも再会でき、スタッフも張り切ってお手伝して、楽しく過ごさせていただきました。